

## 1. 調査方法

当センターに登録している200社へアンケート調査を依頼した。回答方法はメール回答(Excel)またはWEB回答のいずれかを選択することとした。本調査の調査時点は、2023年3月31日現在とした。(表では、2022年度と表記される)

## 2. 調査期間

2023年4月3日(月)～4月28日(金)

## 3. 調査対象の属性および回答回収結果

当センターに登録している企業の属性は以下のとおりで、アンケート調査を依頼した全社から回答を得た。回収率は100%であった。

業態・資本別

年度	2021	2022	差
全体	202	200	-2
内資系製薬企業	141	137	-4
外資系製薬企業	46	48	+2
CSO	14	14	0
卸売販売企業	1	1	0

MR雇用規模別の企業数

集計項目	企業数		
	2021	2022	差
全体	202	200	-2
1000名以上	14	12	-2
500～999名	28	26	-2
300～499名	10	12	+2
100～299名	33	33	0
99名以下	117	117	0

MR雇用規模別、団体加盟企業数

集計項目	企業数	加盟団体		
		製薬協	GE薬協	両協会以外
全体	185	67	29	91
1000名以上	11	11	0	0
500～999名	24	22	2	0
300～499名	9	8	0	1
100～299名	33	14	7	13
99名以下	108	12	20	77

製薬協: 日本製薬工業協会

GE薬協: 日本ジェネリック製薬協会

これ以降の表記も略称を用いる。

## 4. 用語解説

### 「MR」の定義について

MRとは、企業を代表し、医薬品の適正使用並びに薬物療法の向上に貢献するために、医療関係者と面談又は電子ツール等を用いた情報交流を通じて、医薬品の品質・有効性・安全性等に関する情報の提供・収集・伝達を主な業務として行う者をいう。(MR認定要綱)

前回の調査から、通常、医療機関に訪問して活動するMRとWebまたは電話でのみ活動するMRに分けてそれぞれの人数を調査している。

### 「管理職」について

管理職とは、MRを管理監督し、MR支援のために医療機関などを訪問する者を指し、所長、エリアマネージャー、DM、課長、部長、支店長、ブロックマネージャー、グループマネージャー、本部長、事業部長など様々な役職名がある。

### 「コントラクトMR」について

コントラクトMRとは、CSO (Contract Sales Organization: MR派遣およびMR業務受託企業) に所属するMRのことで、派遣された製薬企業のMRと一緒に業務を行う派遣型と、製薬企業からプロジェクトを請け負い、自社の監督下で業務を行う請負型の二通りの契約形態がある。

## 1. MR数およびMR認定取得者数

### 1) MR数

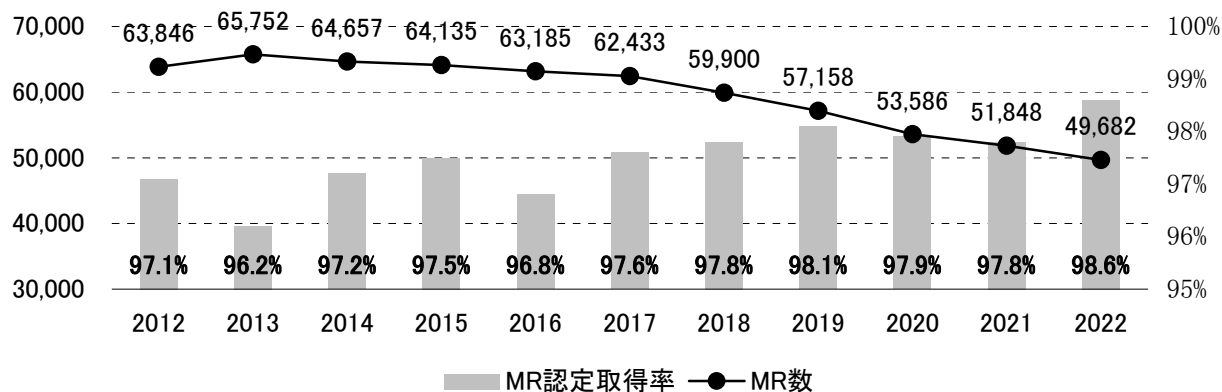
	2021年度	2022年度
MR数 (①と②の合計)	51,848 名	49,682 名
-1 認定証取得者	50,725 名	48,962 名
-2 認定証未取得者	1,123 名	720 名
認定証取得率	<b>97.8%</b>	<b>98.6%</b>
①通常、医療機関を訪問して活動するMR	51,450 名	49,270 名
①-1 認定証取得者	50,343 名	48,562 名
①-2 認定証未取得者	1,107 名	708 名
認定証取得率	<b>97.8%</b>	<b>98.6%</b>
②Webまたは電話でのみ活動するMR	398 名	412 名
②-1 認定証取得者	382 名	400 名
②-2 認定証未取得者	16 名	12 名
認定証取得率	<b>96.0%</b>	<b>97.1%</b>
③管理職	7,727 名	7,566 名
③-1 認定証取得者	7,485 名	7,339 名
③-2 認定証未取得者	242 名	227 名
認定証取得率	<b>96.9%</b>	<b>97.0%</b>
④ ①～③以外の認定証取得者	13,831 名	13,734 名
合計	73,406 名	70,982 名

昨年に比べMR数は、2166名(4.2%)減、認定証未取得者で403名(35.9%)減と、認定証未取得者の減少割合が特に高かった。昨年から調査に加えたWebまたは電話のみで活動するMR数は、14名(3.5%)と微増した。MR雇用規模別では、1000名以上と500～999名のセグメントで企業数、MR数ともに減少、300～499名のセグメントで企業数、MR数ともに増加した。肥大化したMRの雇用規模がスリム化する傾向が注目される。

### 2) MR雇用規模別のMR数

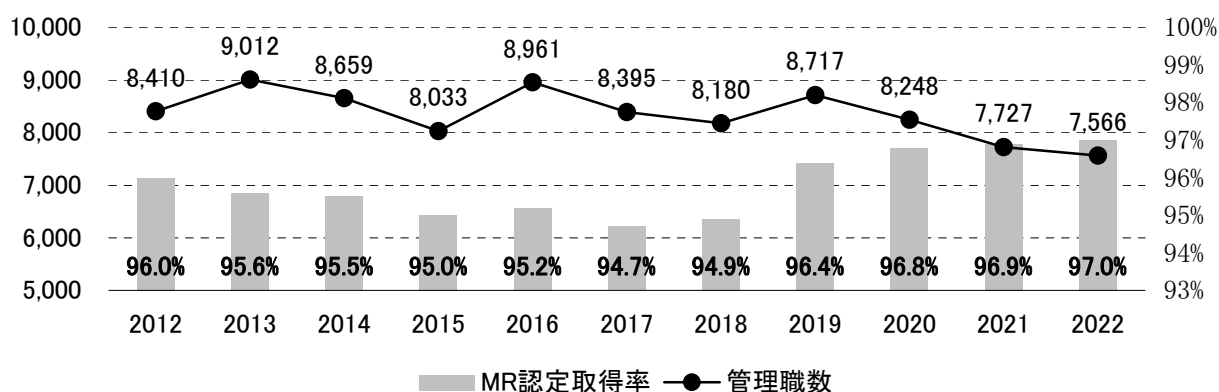
2022年度	企業数	MR数	構成比
全体	200	49,682	100.0%
1000名以上	12	16,481	33.2%
500～999名	26	18,824	37.9%
300～499名	12	5,013	10.1%
100～299名	33	5,705	11.5%
99名以下	117	3,659	7.4%

## 3) 年度別MR数と認定取得状況の推移



MR数の減少傾向は継続し、2000年から2002年に5万人を超えたMR数が約20年ぶりに5万人レベルに戻った。一時期の生活習慣病に対する多数の同種同効薬による競争の激化とSOV獲得を背景として膨れ上がったMR数が適正レベルにまで落ち着いたとも考えられる。情報提供チャネルの多様化と効率化がどこまで影響するか、安全性情報の収集の観点からも今後の動向が注目される。

## 4) 年度別管理職者数と認定取得状況の推移



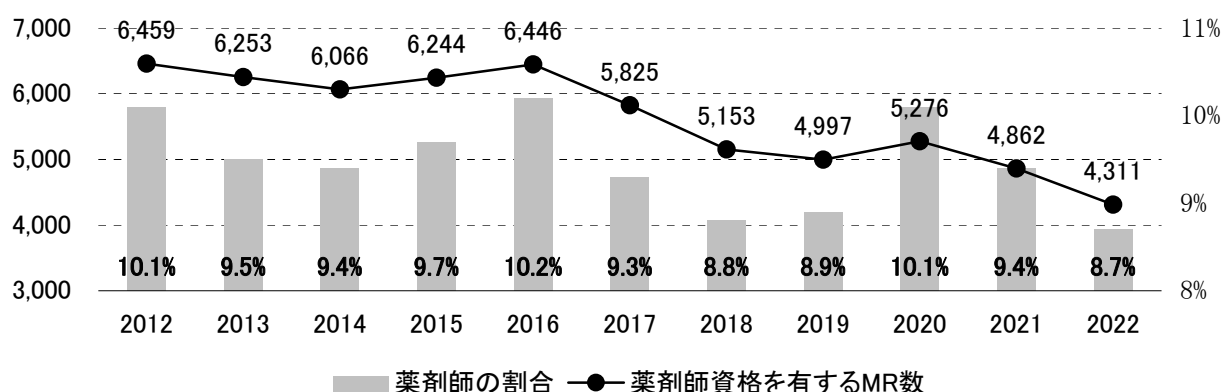
管理職者数もMR数に呼応するように減少のトレンドとなっている。2005年に7,000名を超え、2006年以降はほぼ8,000～9,000名の間を推移していたが、昨年に引き続き8,000名を割り込んだ。

## 2. 有資格者別のMR数

2019年度から有資格者の区分を、「薬剤師」と「薬剤師以外の有資格者」とした。なお、薬剤師以外の有資格者とは、医師、歯科医師、看護師等である。

資格の区分		人数	有資格率
通常、医療機関を訪問して活動するMRのうち	薬剤師	4,268名	8.7%
	薬剤師以外の有資格者	237名	0.5%
Webまたは電話でのみ活動するMRのうち	薬剤師	43名	10.4%
	薬剤師以外の有資格者	1名	0.2%

### 1) 薬剤師資格を有するMRの推移



薬剤師資格を有するMRの人数は、MR数と同様に減少傾向が続き、薬剤師資格保有率は、2011年に記録した最低値と同等になった。今後の推移も引き続き、注視する必要がある。

## 3. 企業属性別のMR数

### 1) 2022年度のMR数

年度	企業数	MR数	構成比	前年比
全体	200	49,682	100.0%	95.8%
内資系製薬企業	137	28,365	57.1%	93.5%
外資系製薬企業	48	16,831	33.9%	96.1%
CSO	14	4,409	8.9%	111.7%
卸売販売企業	1	77	0.2%	116.7%

### 2) MR数の推移

年度	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
全体	63,185	62,433	59,900	57,158	53,586	51,848	49,682
内資系製薬企業	36,844	36,721	35,455	33,463	31,501	30,322	28,365
外資系製薬企業	22,217	21,973	20,763	19,711	18,101	17,512	16,831
CSO	4,054	3,667	3,614	3,917	3,923	3,948	4,409
卸売販売企業	70	72	68	67	61	66	77

## 4. 加盟団体別MR数の構成比

集計項目	加盟団体			
	全体	製薬協	GE薬協	両協会以外
全体	45,196 100.0%	37,831 83.7%	3,015 6.7%	4,596 10.2%
1000名以上	14,838	14,838	0	0
500～999名	17,464	16,342	1,122	0
300～499名	3,753	3,363	0	390
100～299名	5,705	2,596	1,104	2,160
99名以下	3,436	692	789	2,046

前年との比較では、製薬協2,466名(6.1%)、GE薬協215名(6.7%)ともに減少。両協会以外は微増となった。

## 5. MRの製品担当について〔複数回答〕

集計項目	企業数					
	合計	①領域	②製品種別	③区別なく	④その他	無回答
全体	200 100.0%	68 34.0%	17 8.5%	132 66.0%	11 5.5%	2 1.0%
1000名以上	12	10	2	3	0	0
500～999名	26	17	3	11	2	0
300～499名	12	4	2	11	1	0
100～299名	33	11	0	22	2	0
99名以下	117	26	10	85	6	2

表中の製品担当種別の詳細は以下のとおり。

- ①領域: 診療・疾患(オーファンを含む)・治療・薬効群などの領域で担当している
- ②製品種別: 先発品・長期収載品・後発品のような製品種別で担当している
- ③区別なく: 領域別・製品種別の区分なく担当している

昨年と目立った変化はなかった。